

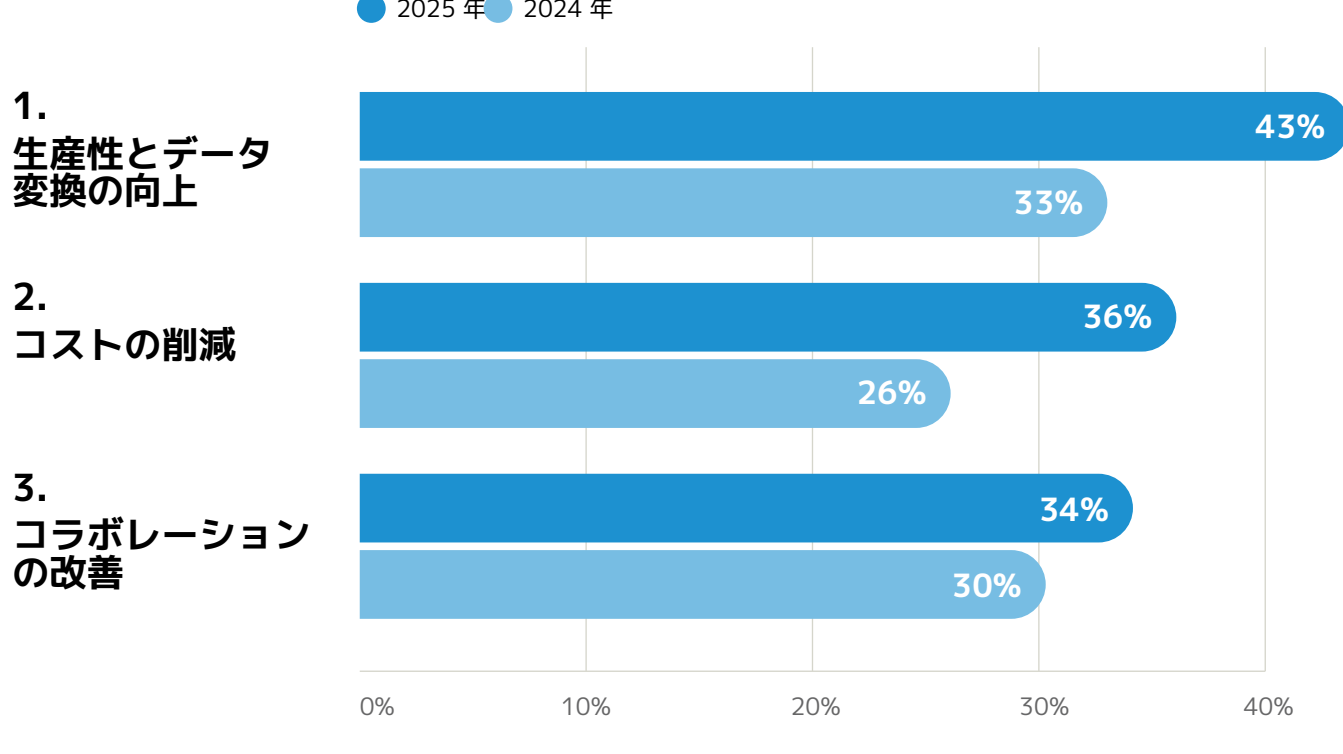
# デザインと創造 の業界動向調査

## エンジニアリング サービス プロバイダー

2024  
2025  
2026

### インサイト 1 非常に良い影響をもたらすデジタルトランスフォーメーションの取り組み

#### デジタル トランスフォーメーションの 主な 3 つの利点



#### デジタル トランスフォーメーションが組織全体に利益をもたらす

デジタル成熟度が高い企業は、同業他社よりも以下のように答える傾向が見られます。

+26%

業績が「平均以上」または「顕著」だったと回答した企業の割合

+39%

「将来への準備ができてい  
る」という質問に、「そう  
思う」と回答した企業の  
割合

+30%

過去 3 年間で投資が「増  
加」または「大幅に増加」  
したと回答した企業の  
割合

+30%

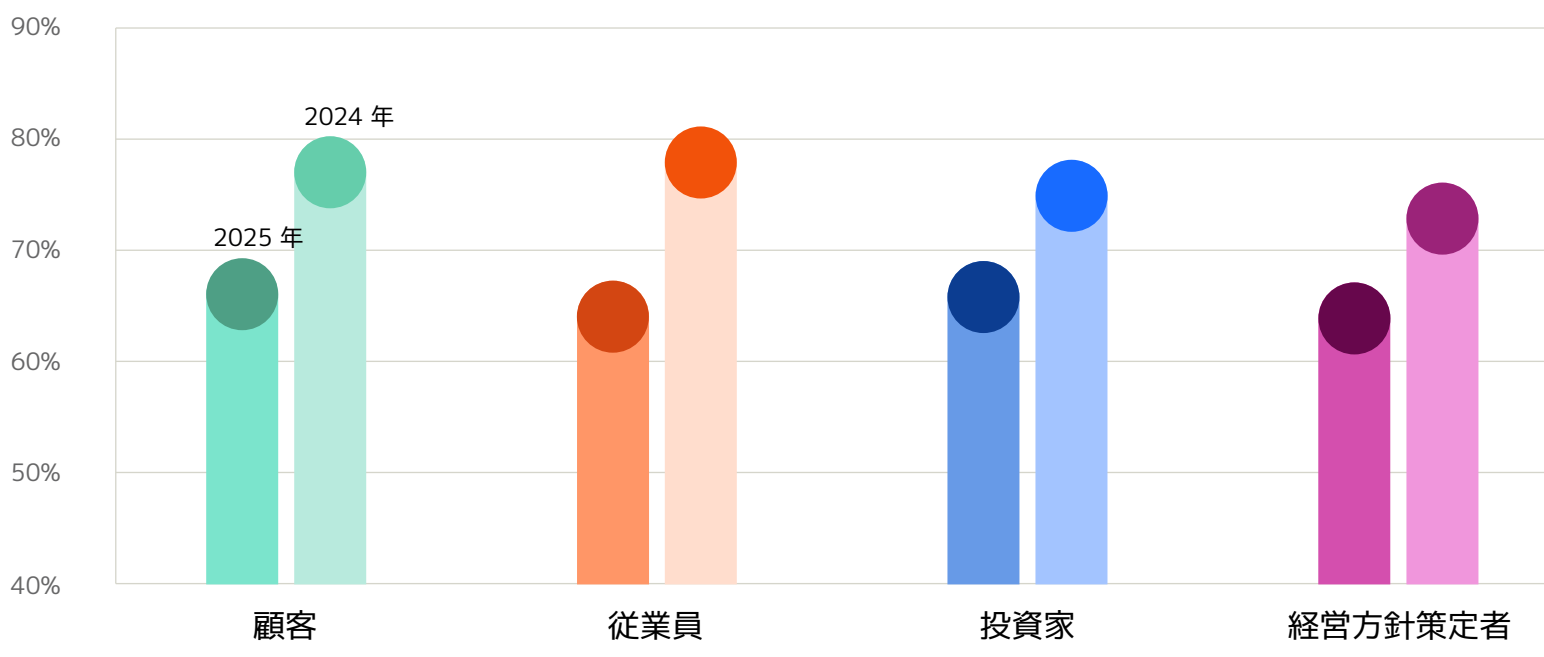
業界の変化に「まったく」遅れをとっていな  
いと回答した企業の  
割合

### インサイト 2 サステナビリティの推進要因がプレッシャーから収益性へと変化

72%

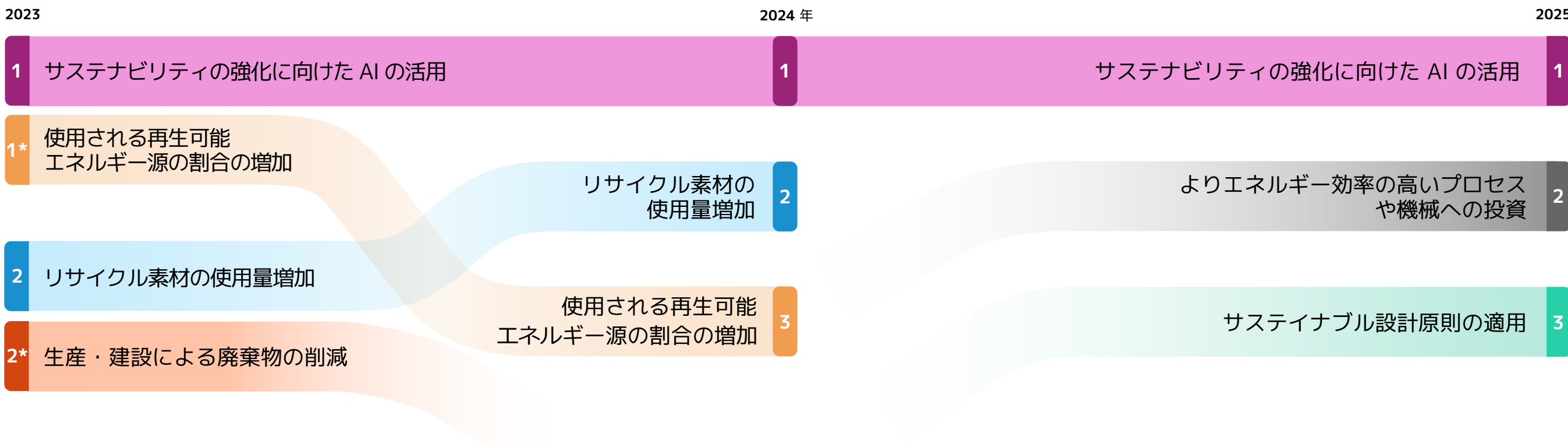
デジタル成熟度の高い企業のビジネス リーダーの内サステナビリティ投資を加速している割合。これに対し、デジタル成熟度の低い企業では 54% です。

#### ステークホルダーの影響力は低下している



### インサイト 3 AI がサステナビリティの実現手段として首位の座を維持

#### 年別の主なサステナビリティ施策

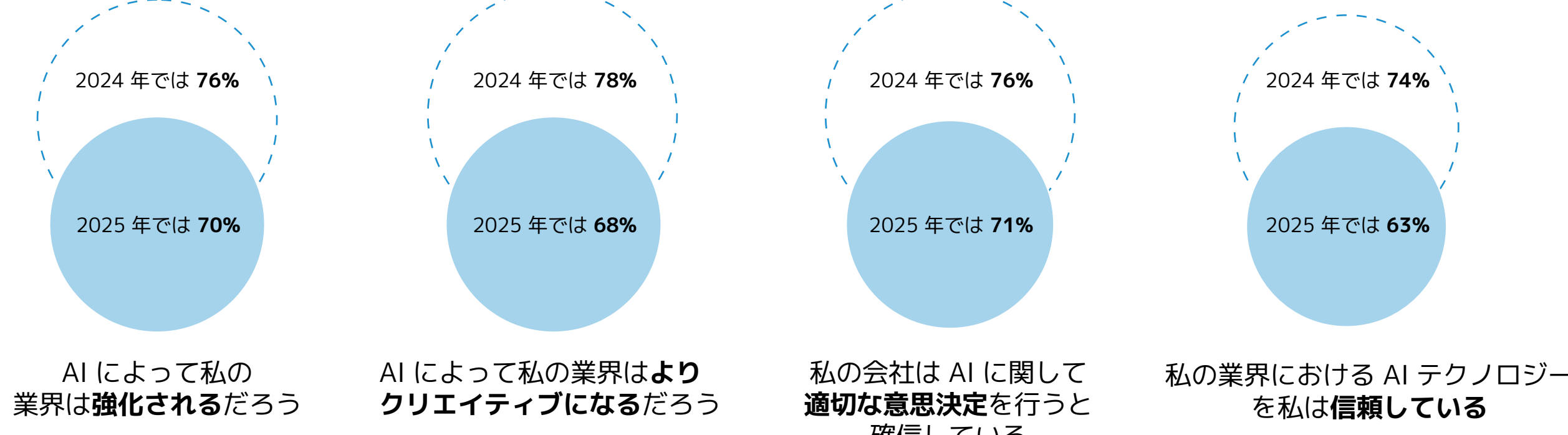


デジタル成熟度の高い企業は、デジタル成熟度の低い組織よりも、サステナビリティのために AI 技術を活用していると報告

40% vs. 36%

### インサイト 4 現実直面した AI のハイプ サイクル

#### AI に対する意識がエンジニアリング サービス プロバイダー全体で低下している

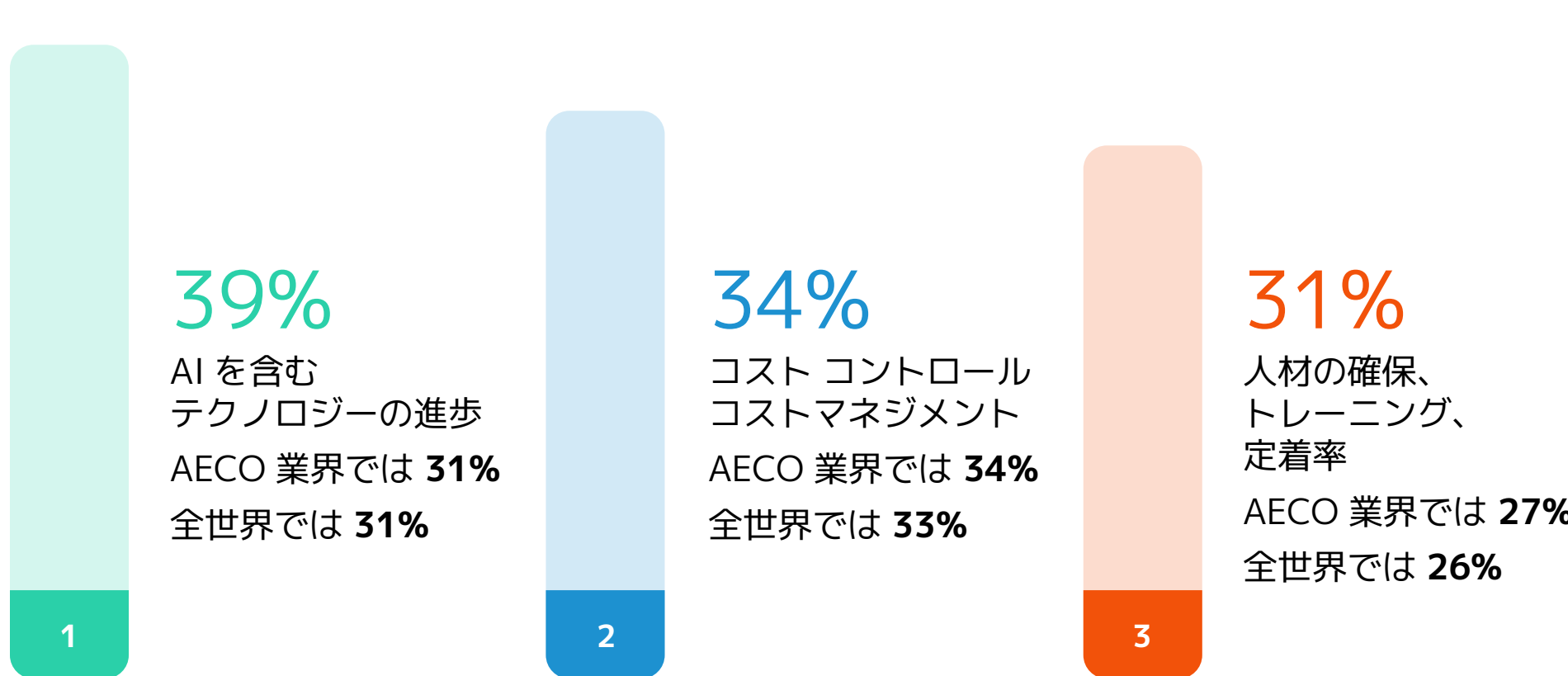


75%

デジタル成熟度の高い企業のビジネス リーダーの内「AI への投資を増やす」と回答した割合。これに対し、デジタル成熟度の低い企業では 65% です。

### インサイト 5 最大の懸念はテクノロジー、コスト、人材

#### エンジニアリング サービス プロバイダーに おける主な組織的課題



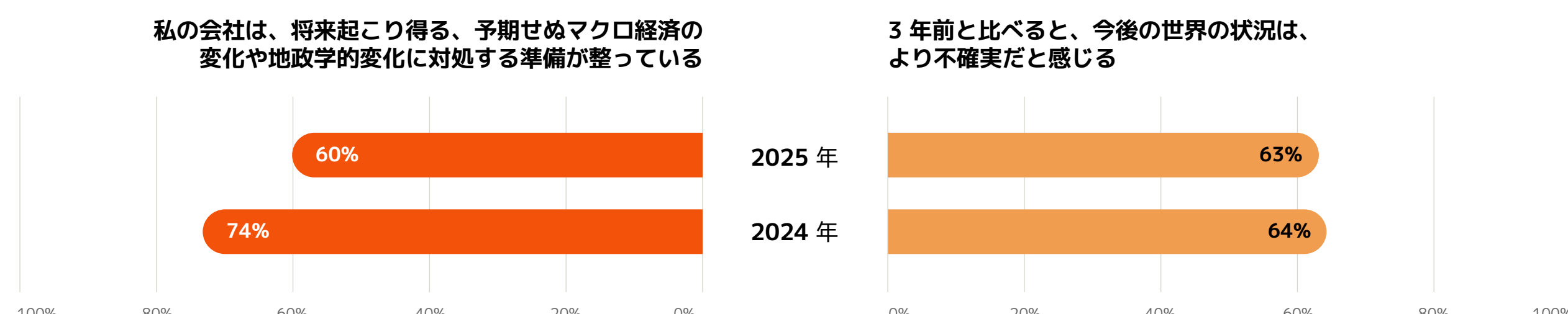
デジタル成熟度の  
高い組織は、

38%

サプライ チェーンを多様化する可能性が 38% 高く、  
レジリエンスの面で大きな優位性を持っています。

### インサイト 6 近い未来に対する慎重な見方がビジネス リーダーに拡大

#### リーダーたちは将来に対してより楽観的である一方、準備は十分ではないと感じている



デジタル成熟度の高い組織のリーダーは、  
不測の変化への対応準備がより整っている  
と感じています。

79%

デジタル成熟度の高い組織では

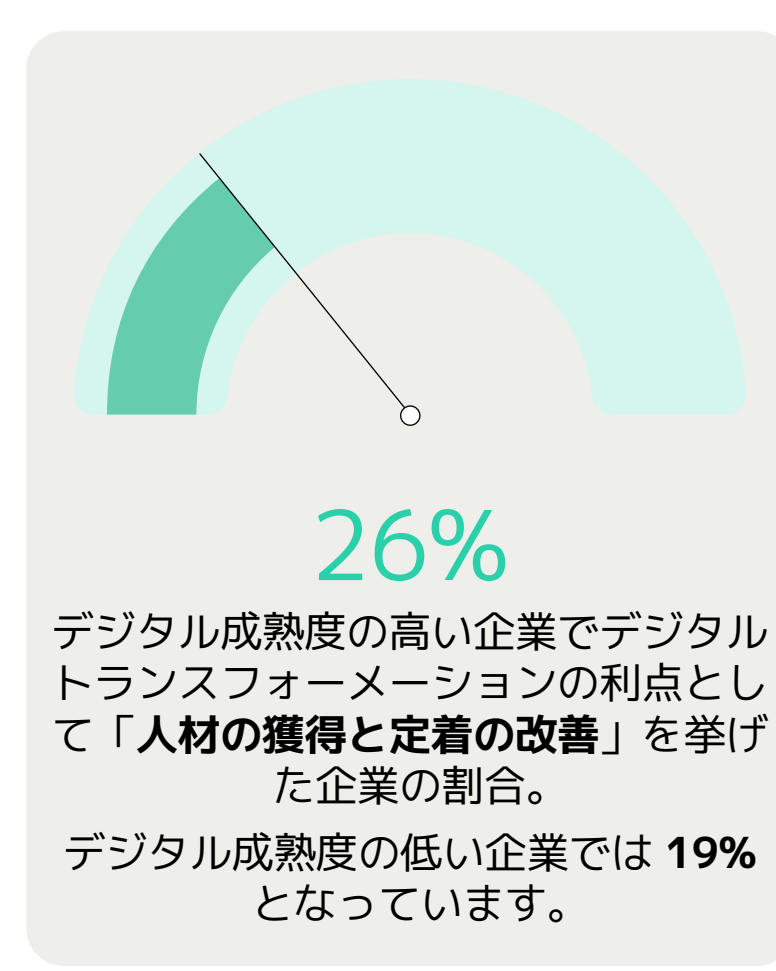
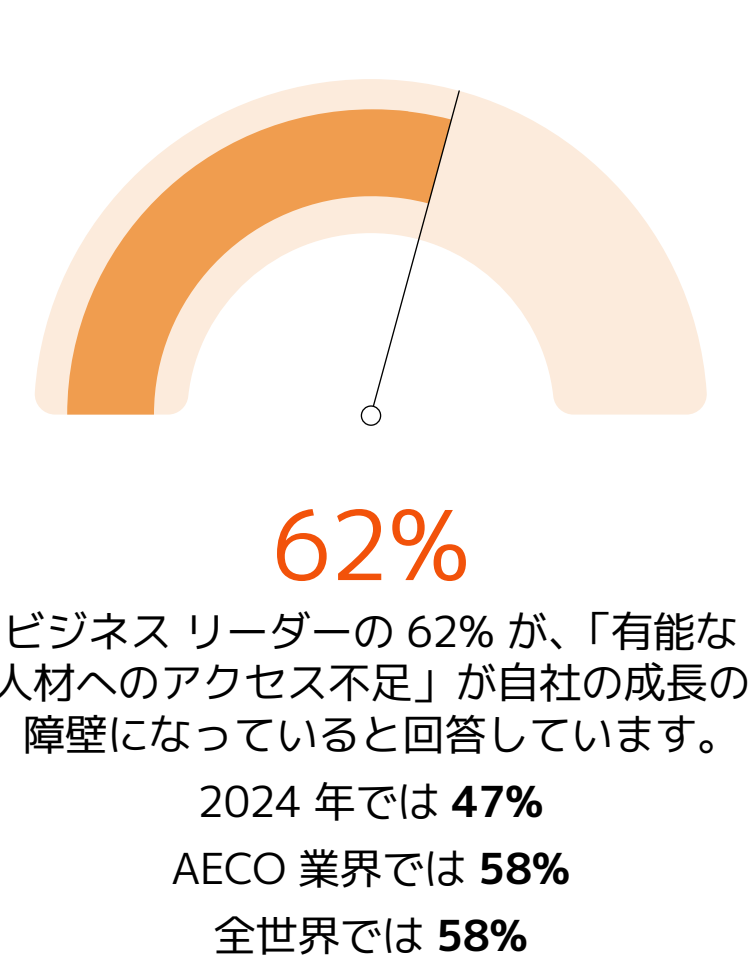
vs

デジタル成熟度の低い組織では

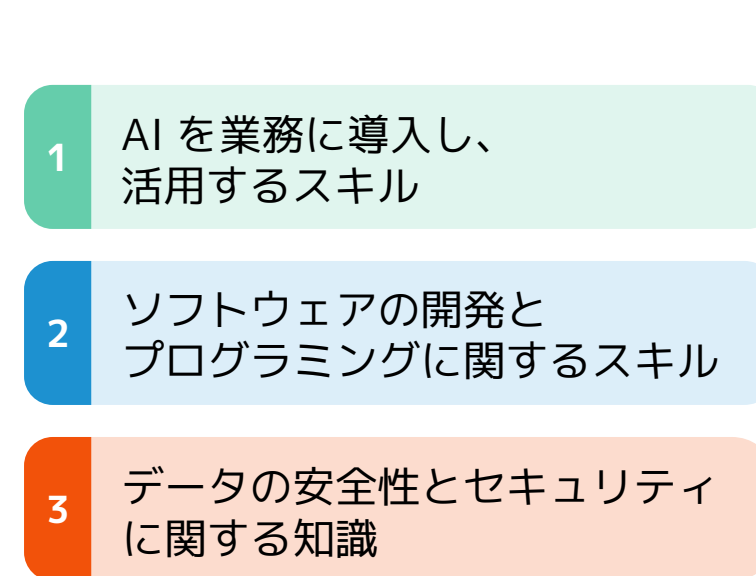
40%

### インサイト 7 AI スキルを備えた人材の獲得が激化

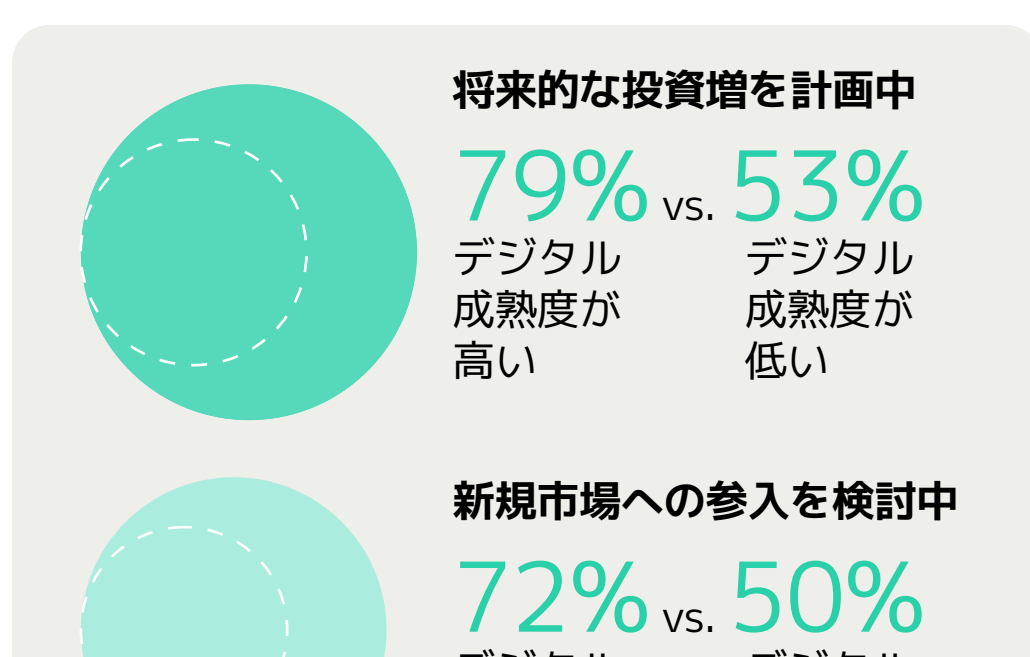
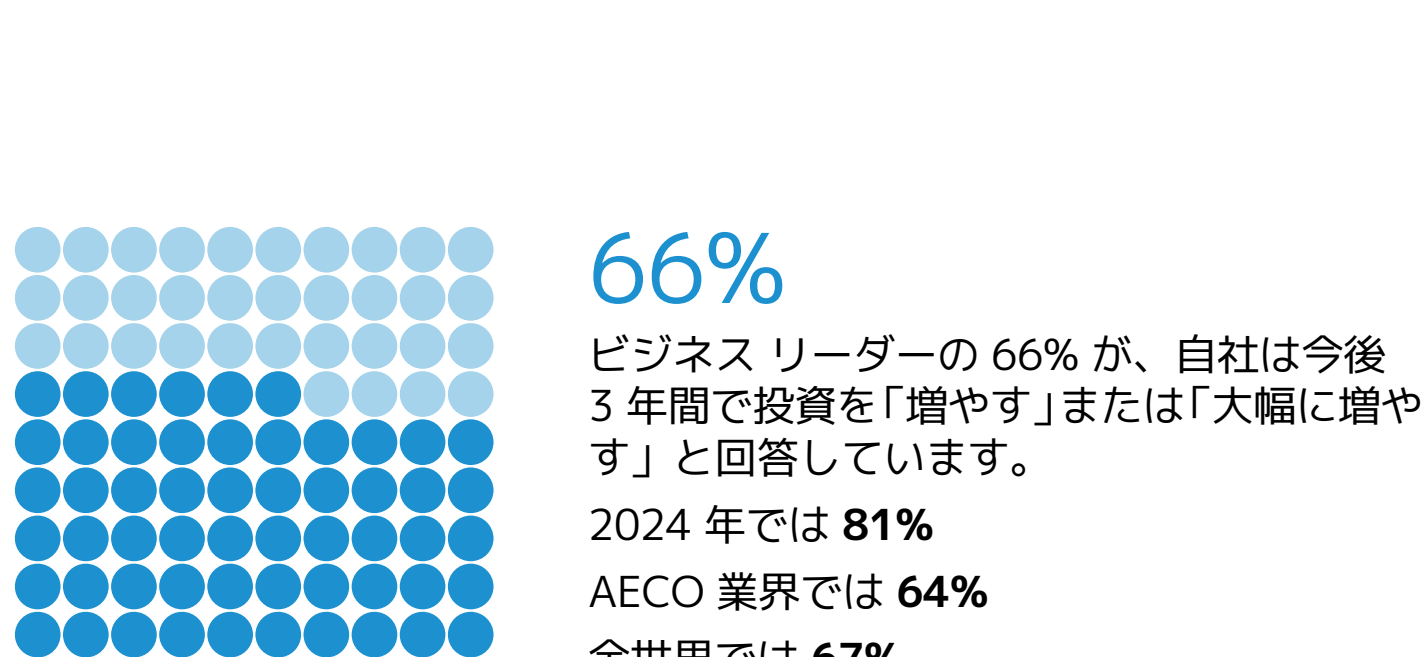
#### 有能な人材の不足が成長を妨げている



#### 将来的な採用優先事項



### インサイト 8 投資は堅調を維持しつつも不確実性を反映



### 統計調査 エンジニアリング サービス プロバイダー

『2025 年度版 デザインと創造の業界動向調査』は、物や空間、体験を設計・デザインし、創出している世界中のビジネス リーダーを対象に毎年実施しているグローバル調査のレポートです。現代のビジネスを左右している最も差し迫った問題を明らかにした上で、未来に向けて何に取り組み、何に投資すべきかについて、戦略的な意思決定を行うために役立つ豊富な情報をビジネス リーダーの皆さまに提供します。本調査は今年で 3 回目となるため、過去 2 回のデータと比較しながら解説しています。

373

2025 年のアンケート回答者

288

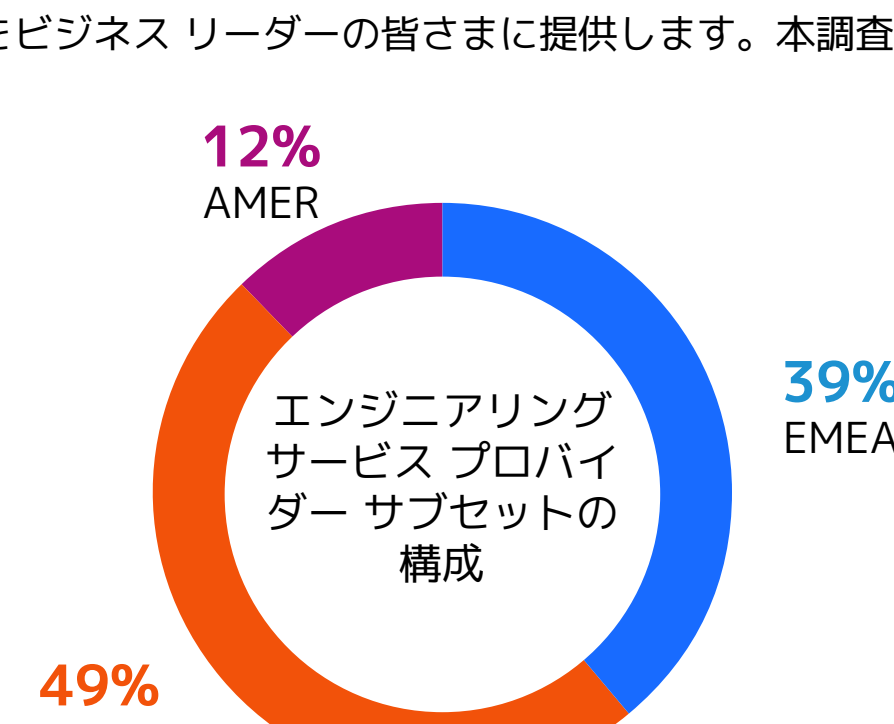
2024 年のアンケート回答者

279

2023 年のアンケート回答者

191

2025 年に  
デジタル成熟度  
が高いと分類さ  
れた回答者数



『2025 年度版 デザインと創造の業界動向調査』レポートの全文（すべての用語および研究分析を含む）にアクセス

→ レポート全体を読む